

[30_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470304>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 30 (2), 1997-06. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編集後記

今年の1月からサービスを開始した新スーパーコンピュータ VPP700/56 は、「分散メモリ型ベクトル並列計算機」という、説明するのにひと苦労する計算機です。

VPP700/56 は一つのプロセッサが単体のベクトル計算機としても使えるので、汎用計算機 M-1800/20U や前スーパーコンピュータ VP2600/10 のプログラムをそのまま実行することができます。とはいっても、並列計算機の性能を引き出すには、やはり利用者によるプログラムの並列化が必要です。

満足すべき性能を出す自動並列化コンパイラの登場はまだまだ先になりそうです。ということは、研究室で代々受け継がれているプログラムを見直すことが必要になります。

「並列」という、あまり関わりたくないキーワードを受け入れない限り、大規模数値シミュレーションの分野では論文が書きにくくなるという恐ろしい現実を前に、プログラムを引き継いだ後輩さんの労を今のうちにねぎらいたいと思います。

* * * * *

さて、人事異動のページを読むとおわかりのように、今年の春も複数の人が波（あるいは津波）のようにセンターを去り、複数の人がセンターにやって来ました。

新しい人が組織にやって来ると、全体を把握していないので不安を感じる半面、何でも習得してやろうという意欲がみなぎっているものです。

という一般論に立って、新しくセンターにやって来た人にはどんどん広報の記事（特にスーパーコンピュータ関連）を執筆してもらおうと思う広報教育委員です。

(ピアガーデンの開店直後の唐揚げ評論家)

この四月より大型計算機センターでお仕事をすることになりました。仕事を始めた頃は朝が早く大変だったのですが、この頃は自然に早起きできるようになりました。

大型計算機センターに来た頃は、耳馴れない専門用語や略語（3～4文字の英字）が理解できなくて大変でした。「どこかに用語集はないのかな」と思っていたのですが、大型計算機センターの WWW ページを見ると簡単な説明は載っていますね。今ではずいぶん理解できるようになってきましたけれど、まだまだ勉強中といった所です。

新しい場所に移動したので、自分の計算機環境を新たに構築する必要ができました。以前から UNIX 系の OS を利用してきたので、同じような環境を整備しようとしています。計算機環境を整えるのは大変ですね。まずワークステーションに OS を入れて、次にたくさんのフリーソフトをインストールする、という作業をやりました。しかしなかなかうまくいきません。make 一発でできあがるソフトもあれば、エラーがたくさんでるものもあります。

このような作業をしていると、管理者の方々にあらためて感謝を感じます。センターでは、このような計算機環境の整備をユーザが行なう必要はほとんどないので、ソフトウェアの導入や保守は面倒だと思っ方には便利な環境なんだろうな、と思うようになっています。

平成九年六月。make の log を眺めながら。

E. I